

TOPICS

- バイオイル構想をアピール
- お客様紹介：中島運輸機工(株)
- 出雲産業フェア2014
- 今月のクイズ：鍋つゆセットプレゼント

バイオオイル構想をアピール

—資源の循環利用を考えるシンポジウム— (in 鳥取大学)

このシンポジウムは、廃棄物や資源の循環利用をテーマにした研究の成果を発表する場として、2000年から廃棄物・資源循環研究会の主催で開催されています。7年前からは、大学はもとより、公的研究機関に民間企業を加えて公開するシンポジウムに形を変え、研究成果を広く知ってもらおう交流の場として開催されています。



ポスターセッションでは当社ブースで皆様が熱く語っていただきました。

東京オリンピックまで、好景気は東京一極集中で起こり、これから起こる地方再生・地方主導型経済の動きによって、この地方もこの先3年までは好景気が予想されます。しかし、その後は一気に廃れていくことに危機感を持ち、3年後に備えて、地域の資源は地域で活用する仕組みを産・官・学・民で作る、地域に展開すべきです。

具体的には、これからの企業は、企業対企業ではなく本当の意味での一人一人のお客様個人（SSで例えるなら、オイル交換に来る人）に好感をもってもらうことがますます大事になってくる、それをこの鳥取の地で実現したいと強くアピールしました。

(山根)



地域の資源を地域で活用する仕組みを「リンゴの木」に例え、具体的な活動とこれからの展開を説明しました。

地域から出る使用済み潤滑油と使用済み食用油を地域のエネルギーとして、地域の方々に使ってもらおう。そのなかの使用済み食用油を福祉の力で集めていく。このようなバイオオイル構想を鳥取県に注目していただいたことは、今後の励みになります。

(木村憲、高橋)

※バイオオイル（バイオ再生重油）：使用済み食用油、使用済み潤滑油を混合して作る再生燃料。

中島運輸機工株式会社 出雲営業所 様

〒693-0054
島根県出雲市浜町110-1
TEL 0853-22-1100
FAX 0853-22-1350



ブログが、社内外で大好評です。社員の家族も見られ、「働く様子がわかって、うれしいし、安心できる。今後もたくさん載せて欲しい」と、うれしい手応えです。また、大手の同業他社からもHPをみて問い合わせが入るといことで、効果は絶大です。人材の確保にも役立っているということです。（写真左から）遠田様、遠藤様、大國様、中島常務、黒川専務。

アクセス先 www.nakashima-crane-transport.jp

クレーン作業の広がり

クレーン作業、トラック輸送及び重量物組み立て据付工事を専門とする会社です。出雲営業所には、男性38名、女性3名で構成され、平均年齢45歳で、ベテラン社員が揃っています。皆、勤務年数が長く、それぞれの資格が十分に発揮されています。

数ある車輛のメンテナンスは、一人一台担当車輛が決まっており、自分の車のように自主的に整備管理しています。

月に1回、安全協議会を開催し、ヒヤリハット事例を報告することで、ミスをなくし、安全作業の徹底を図っています。現場での労災事故・交通違反は近年、発生しておらず、優良事業所です。

近年、風力発電所が盛んに建設され、稼働していますが、島根県で風力発電所建設に携わった経験から技術や知識を得て、北海道から九州まで、メンテナンスの仕事が増えています。現在、大山町の風力発電所のメンテナンスをおこなっています。

大型クレーン導入後、県外の仕事も増えており、岩国の米軍基地、周南の出光油槽所、千葉県のダムの改修等がおもな実績です。

県内外の異業種との繋がりもあり、最近では、大手ゼネコンから要請があり、7名の社員が福島復興の手伝いをするようになりました。福島原子力発電所で、凍土壁工事でクレーン作業をおこなっています。25t、50tのクレーンを船舶輸送しました。まさにクレーンによる社会貢献です。

400tクレーンは、10月27日から江津市のバイオマス発電所建設工事で活躍しています。今後、活躍の場が広がっていきます。（中島運輸機工(株)様ご提供）

地域の仕事は地元企業で

会社方針は、「いつも誠実に確かなサービスをご提供して、皆様のご安心とご信頼に応え、社員全員が、それぞれの幸せを実現できる会社を目指します」とあるように、社会（地域）に貢献することが会社の使命と考えます。地域で求められる仕事が可能な設備を整え、地域の仕事は地元企業で施工し、地元でお役に立ちたいと考えます。（中島常務よりお話を伺いました。

聞き手長野）



中国地方でもトップクラスの400tクレーンが島根にやってきました。天空にそびえ立つ勇姿をご覧ください。（中島運輸機工(株)様ご提供）



出雲産業フェア2014 天ぷら油が燃料になる

100社の団体の製品や技術が一堂に集まり、出雲産業フェアが11月2日から3日、出雲ドームで開催されました。最新の出雲ものづくり情報を、見て、触って、体験できる場として、たくさんの家族連れで賑わいました。

当社も昨年に引き続き、使用済み天ぷら油を使って、クリスマスキャンドル作りを行いました。午前中に午後の予約もいっぱい埋まってしまうほど盛況でした。お客様に好きな色を2色選んでもらって、かわいいミニキャンドルを4個作っていただきます。使用済み天ぷら油を使うことに驚きと関心を示していただき、「古くなった天ぷら油を公民館へもって行きます」とおっしゃるお母さんも。

「もっといろいろな形のキャンドルを作りたい



い」「家庭でもやってみたい」と、リクエストが多数出て、うれしい悲鳴です。

このように資源として再び活用できることを理解していただき、有効な未使用資源として、大切にしていきたいと思います。



親子でクリスマスキャンドル作りを楽しんでいただきました。

全国オイルリサイクル協同組合経営者研修会 「お客様の信頼を高めるための取り組み」

本年度の経営研修会は、環境リサイクル事業者として、事業継続を図る上で重要な社会の中での存在意識、企業倫理的な視点から、品質の向上、危険物取り扱い管理、安全管理、製品管理にどう取り組んでいくべきかというテーマで行なわれました。

私たちの会社の方針である、地域経済の特性（人口減少、県内総生産に対する収支が大赤字）を生かす。つまり鳥取・島根両県からでる貴重な石油資源を地域内の経済に活用する。これらを達成するために、Sオイル及びバイオイルの地域の産業へ大きい活用が出来る品質の改善、増量そして安定供給に取り組んで生きたい。（山根）

今回のテーマは「安全と品質」と考えました。徐々に原料が減少していくこの業界が、今後発展していくうえで必要なキーワードだと思う。グループディスカッションでは、今後環境リサイクル企業としてどう取り組めば良いかを各社が問題点を挙げた中で、安全と品質を問題とされる経営者が多かった。当社は技術的な研究は他企業より少しだけ進んではいるが、それは今まで、他企業が取り組んでいなかっただけのこと。当社もこの業界を技術的に牽引できるようにしたい。（木村）



左写真：パネルディスカッションで発表する高橋社員。企業が信頼されるためには、本当のお客様である「個人」に向けてまず、私たちの仕事を知ってもらうことの重要性を強調し、具体的な取り組みを発表しました。発表後、一度勉強にいきたくてオファーがあり、手ごたえを感じました。

最近、立て続けに起こる同業他社の事故を受けて、各社の取り組みと問題を話し合いました。その中で、K工業様の「違法行為があったら、排出事業者も罪にとわれることを理解してもらうことを徹底して行なっている。また、一般廃棄物の廃油についても、市町村に問い合わせ問題提起を積極的に行なうことが、監督機関はじめお客様、ひいては地域住民の信頼を得ることにつながるという企業方針に、「お客様の困った」を解決することの本質を学びました。（高橋）

K工業様が実践している、「排出事業者と連携したワンストップサービス」は、付加価値の高いサービスで、お客様からの信頼は絶大です。当社も、「お客様お助け業」をうたっています。お客様の困ったことは何でも持ち帰り、皆で相談すればよいアイデアが出てきます。お客様のニーズをいち早く掴むことが大事だと感じます。（長野）



明るい未来は自分の力でつくる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

10月21・22日東京にて恒例の全国経営研修会が開かれ、当社からは、長野、木村憲、高橋、山根の4名が参加しました。研修のテーマは「オイルリサイクル業界として、品質及び安全・倫理意識の向上をはかり、調達、製造、製品の信頼度を高め、顧客ニーズに合った経営を構築するための方法と対策を研修する」でした。

回を追って各社、特に社員の皆さんの意欲が向上していることを強く感じました。うれしいことです。

なぜなら今私たちの業界が直面している現実、原料である使用済み潤滑油の減少と、同業の大手資本が大きい力で私たちの市場へ攻めてきます。現在日本経済が直面する現実と全く変わりありません。

「社会から信頼を高めるための取組み」というテーマで、パネルディスカッションがありました。そのなかで私たちを代表して高橋君が「再生重油の未来に向けて」というテーマで発表をする機会に恵まれました。

「私達の明るい未来に向けてコーポレートスローガン
《 美しいふるさとを守る 》

の実現を目指します。

地域に大量にある使用済み潤滑油、使用済み食用油を、熱エネルギーとしてリサイクルし、地域内で活用することによって、地域の中小企業の繁栄に役立ち、雇用が安定し増加する。結果この地域が活性化される。

そしてこのような社会性豊かな取り組みを通して、「働く社員が誇りと自信を持つ会社になる」以上がその趣旨です。

そして具体的には、私たちが平成4年より開発してきた既存の技術を、もっと使いやすくかつ環境にやさしい燃料に改善、改良を続ける。

例えば現行のSオイルの欠点である灰分をゼロにして、業務用小型ボイラー、農業用空気加温機で使用できるように改良して、Sオイル使用用途先を増やす。使用済み食用油を均質に混合したバイオオイルを改良し、植物由来の油という未利用資源を活用すると同時に、それによりCO2削減を促進する。省エネルギー診断を実施して計画的な燃費の削減を進める。お客さまがJクレジット制度*に登録、CO2の排出削減の登録認証を受ける。しかも家庭の使用済み食用油を回収するのは、福祉の方々の協力で行う。

このように地域の資源を地域の内で使い、地域を元気にするという新しい経済を提案したい。

Jクレジット制度とは 省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなどに活用できる。

私はこう考え、こう実行します

- 【安原】地域から出る貴重なリサイクル資源（使用済み潤滑油、使用済み食用油）を地域で活用することをお客様に訴えて理解していただく。
- 【松下】お客様の困ったを聞き、全力で対応する。
- 【河上】使いやすい燃料を開発し地域の農業につくす。
- 【岸本】自分の出来ること、すべきことを実行する。
- 【榎並】お客様先へ積極的に訪問し情報を集め、お客様に合った提案を行ないます
- 【山口】地域のお客様を守り、地域に貢献します。
- 【木村】デカントを更新する。
- 【吾郷】自分を覚えていただくために、大きな声で挨拶をします。
- 【大國】発想を豊かに持って、挑戦する気持ちを忘れない。
- 【木村憲】明るい未来を拓く。
- 【長谷川】社会からお客様から信頼・信用される担当になる。

- 【岡田】お客様の役に立てるよう日々精進します。
- 【植尾】お客様に喜んでいただけるよう仕事をする。
- 【松本】自信を持ってお客様へ商品サービスを提供する。
- 【恩村】自分に出来ることを精一杯やります。
- 【小村】地元を盛り上げるために努力する。
- 【藤原大】私は、安全に作業するため、確実に確認します。
- 【金森】地域を元気にするため、笑顔で心がけます。
- 【藤原】私はお客様のことを考え、廃油タンクを作ります。
- 【安達】安全運転でSオイルをお客様にお届けします。
- 【野々村】無駄をなくして効率の良い仕事をします。
- 【宮北】自分の業務に自信と誇りを持って取り組む。
- 【石川】慌てず、確実な作業を心掛ける。
- 【松浦】地域の活性化に協力しま

- す。
- 【石橋】廃棄物の引き取り依頼があれば早急にいき、お客様の信頼を得る。
- 【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全（KY）を徹底し安全作業ができるように常にチェックして作業を行ないます。
- 【藤田】お客様に感謝の気持ちを持って、対応します。
- 【三原】美しいふるさとを守るために環境に優しいものを使います。
- 【加藤】社員間で「ルールを守る」ことの大切さを日常のコミュニケーションによる徹底。
- 【足立】私は地域のお客様に感謝の気持ちを持って対応します。
- 【長野】お客様から求められるエコス通信を目指す。



ナラガシワの実

「かしこいさかなは かんがえた」を 読んで



本を開くと、とても色鮮やかで、きれいな色でインパクトがあった。本書は、魚にもいろいろな奴がいると書いてある。まるで、人間の世界ようだ。いろいろな人が人間の世界にもいるのだ。

この本の中の一番すごい魚は、なんと小さいごく普通の魚だった。人間の世界では、とかく見た目や職業、学歴などで人間のすごさを決めてしまうところがある。

しかし、よくよくその人のことを見て、聞いてみれば、すごい人もいたのである。山口出身の有名な詩人、金子みすずの詩のように「みんなちがってみんないい」というように、一人一人人間は違うものである。

また、かしこい魚は夢をあきらめなかった。海の中から陸を歩くという夢だ。人間も夢を持つことはいいことだと思う。特に若い人は、夢を持って、その夢に向かって突き進んで行ってもらいたい。(加藤)

「漏油事故発生！」

お客さま先でタンク内の残油を別のタンクに移し替える作業中、ホース接続部から漏油した。あつてはならない漏油事故を起こしてしまった。

ホース接続部の締め付けが不十分だったことが原因である。

幸い少量だったこと、また外部への流出がなかったことで大事には至らなかった。お客さま先の漏洩検知装置が働き、発見が早かったことが事故を最小限に留めた。お客さまの機敏な対応に感謝いたします。

事故当日の夜、現場社員で原因と今後の対策を考えてお客さまに文書で提出した。

- ①油移送のための準備から復旧までの手順と作業内容、確認方法の改善。
- ②油移送に使用する器具を安全増しに改善する。
- ③資機材の点検方法と点検時期の見直し。

また、万一漏油した場合の対策等を具体的に決めました。

今後同様な事故を起こさないように、自分たちで決めた対策を確実に実行に移してより安全に作業をします。

今回の事故でご迷惑をお掛けしたお客さまに心よりお詫びいたします。

大変申し訳ございませんでした。(安原)

地域情報

第5回ちづの森の感謝祭

11月8日(土)に智頭町森のようちえんまるたんぼう主催による『第5回ちづの森の感謝祭』が開催されました。今年、R373やまさと(旧山郷小学校)で行われ、山郷ならではの食べ物や演奏も楽しむことが出来ました。

開園当時から開催されていますが、保護者様等の協力が本当に大きな力になっていると、冒頭の挨拶で西村代表が言われた通り、出店ブースも盛りだくさんでした。

子供たちも楽しみ、大人も一緒に楽しめるお祭り。また来年も参加したいと思います。(宮北)



感謝祭の様子

元氣の出る言葉

いかなる場合でも、心の力を落としてはならない。終始一貫、積極的な心の態度を持って人生に生きなさい

中村天風師

天は自ら助くるものを助く。自らの人生を価値高く活かすのは、だれがなんと言おうとも、自分自身です。積極的に前を向いて進んでいくのみです。

(長野)



今月の花 ヒイラギ
と葉のト が無くなり 木になる
くなります。



お客様のクレームから 教えていただいたこと

「お宅の会社の車がすごい勢いで曲がってきて自分の車すれすれのところに停車し、車の前をバックしていった。車がぶつかりそうでとても怖かった。どんな教育をしているんだ。損害賠償を請求したいくらいだ・・・」

10月31日夕方、お客様から上記のようなクレームの電話が入りました。

当社のタンクローリーがお客様先へ入るとき交差点で信号待ちをしていた車輛の真横にいったん停車させ、その車輛に沿ってタンクローリーをバックさせました。相手の方に怖い思いをさせる結果になってしまい、お客様への配慮が欠けていたことを心よりお詫びします。

私たちは、毎日大型車輛に乗って移動し作業を行っていますが、他のドライバーや歩行者等の立場になって、控えめで優しい運転をしています。また、このたびの件では、車の進入について改善します。そして、毎月の安全講習ではマナー教育を拡充させます。

わざわざお電話を頂き、教えていただいたお客様に感謝いたします。これを再生のチャンスと捉えていきたいと思えます。(長野)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名に鍋つゆセットを差し上げます。クイズの締切は11月末です。奮ってご応募下さい。

Q：大相撲9月場所で
大活躍した逸ノ城の
出身高校は
どこでしょう？



先月号の答は、「スナバ」でした。
江津市佐々木様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- ・路地裏の資本主義 平川克美 角川マガジズ
- ・いつか帰りたいぼくのふるさと 福島第一原発20キ
口圏内からきたネコ 大塚敦子 小学館
- ・置かれた場所で咲きなさい 渡辺和子 幻冬舎
- ・入門 脳の不思議 宝島社
- ・ゆらゆらばしのうえで きむらゆういち 福音館書店
- ・バルバルさん 乾栄里子 福音館書店
- ・はしれ さんてつ、きぼうをのせて
国松俊英 WAVE出版
- ・冬の薔薇 立ち向かうこと 恐れずに
小林凜 ブックマン社
- ・絆の翼 チームだから強い、ANAのスゴさの秘密
岡田晴彦 ダイヤモンド社
(安原常務から寄贈)
- ・PHPスペシャル増刊 生誕120年人間松下幸之助
2014年 09月号 PHP研究所
- ・月間BOSS(ボス) 2014年10月号 経営塾

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

編集後記

今年も出雲養護学校の学習発表会を鑑賞させていただきました。毎回感じるのですが、それぞれの出し物の完成度が高く、ただただ感心するばかり。生徒さんとそれを支える先生方の努力に敬服します。

高等部の作業班紹介では、ニュース風に仕立てられ、キャスター扮する生徒さんがそれぞれの作業班を取材し、インタビューするものでした。趣向が凝らしてあり、外部の人間にとって大変わかりやすい作業学習の紹介となっていました。

小学部から高等部まで、ひたむきな姿に感動し胸が熱くなりました。心の中で、「がんばれ!がんばれ!」と叫んでいました。(長野)



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば印刷係

ホームページリニューアル (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。